

地方の社会課題をイノベーションで解決！『みんなで子育てシェアリング』

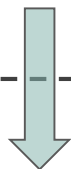
取組主体：佐賀県佐賀市

- ・人口減少、少子高齢化社会において、イノベーションによる社会課題の解決は、地方でこそ輝く。
- ・市公式スーパーアプリを活用して情報やデータをシェアし、地域全体で「みんなで子育てできる仕組み」を構築。
- ・子どもたちの輝く未来とすべての人のWell-beingの向上に向かって、挑戦と発想の転換による「佐賀らしさ」で、「日本一便利で豊かなまち、リッチ・ローカル佐賀市」を目指す。

課題
や現状



解決策や
アイデア



取組状況
や成果

- 子育ては大変。子どもに接する保護者、教職員はとにかく忙しい！
 - ・ 保護者、教職員ともに、朝の忙しい時間での電話での出欠連絡や、紙ベースでの学校イベント等の情報共有に、多くの時間と労力を要している。
 - 未来の希望である子どもたちの見守りや安全確保の活動が地域全体に広がっていない。
 - ・ 自治会役員や老人クラブ関係者など、一部の人が見守り活動などを実施している。
-
- デジタル化することによる業務や作業の簡略化及び情報共有やデータ利活用による子育てDXの推進
 - ・ 学校出欠連絡ミニアプリ：デジタルの出欠連絡。保護者と教職員の朝の忙しい時間を有効活用
 - ・ 子育てミニアプリ：オープンデータを活用して子育て情報をプッシュで届け、予防接種の管理機能も実装
 - ・ 佐賀市イベントカレンダー：子育てイベントや施設の情報共有、施設等までの移動手段の支援
 - ・ ICTを活用した見守りサービス：スマホの位置情報サービスを活用した地域全体での見守り活動の実施
-
- 出欠連絡ミニアプリの実装で、子育て情報をシェアし、保護者・教職員の子どもに接する時間を確保
 - ・ 出欠連絡ミニアプリ導入の小中学校は、運用開始から約1年で53校中32校で現在も増加中。8千人超の保護者が利用し、出欠連絡や学校連絡などで5万回を超える利用実績があり、2,583時間を生み出した。
 - ICTを活用した見守りサービスや地域全体で「みんなで子育てできる仕組み」を構築
 - ・ スマホの位置情報サービスを活用した子どもたちの見守りを、地域住民に大きな負担なく、簡単に、地域全体で行うことで、情報共有とともに、地域コミュニティの活性化につながった。

市内の小中学校で共通利用 学校出欠連絡ミニアプリ「れんらくん」

機能



【連絡】

欠席・遅刻・早退の
連絡 など

【お知らせ】

学校からのお知らせ
の受け取り

【掲示板】

行事予定や給食の献
立表の確認 など

Before

【保護者】

開校時間まで待つて
繋がるまでかける



電話で連絡

【教職員】

電話対応/担任への引継ぎ
メモの整理



After

【保護者】

いつでも・どこから
でも連絡



スマホで連絡

【教職員】

パソコンで確認・共有
データで管理



実績

※2025年3月11日時点

- ▶ 登録者数 **8,346人**
- ▶ 保護者からの連絡 **51,668回**
- ▶ 学校からのお知らせ **3,268回**

電話対応大幅減
2,583時間削減

子どもと触れ合う
時間の増加

情報のシェアとデータのつながりで
子育て世代をスマートにサポート



**予防接種の時期や周辺の子育て
スポットを確認できる**

step1

子育て世代に嬉しい情報！



イベントに参加しよう！
ミニアプリ



**カレンダーと一覧の形式でイベントを
探せる** ※カレンダーは、2025年3月27日実装



交通情報
ミニアプリ

地図から
・バス停の場所
・時刻表
を検索できる



シェアサイクル



モビリティ シェアリング

約**4,000回**/月の利用



タクシー配車

自治体アプリとの
連携は**全国初**

ライドシェア



九州で2例目

step3

移動は公共交通で！

思いやりをシェア みんなで子どもを守る地域の実現

内容

Bluetooth機能がついた
「見守り端末」を子どもに無償配布



お店や企業が「見守りスポット」を設置
地域住民が「見守り人」としてアプリを
インストール

子どもが近くを通ると「位置情報」を記録

子どもがどこにいるか分かる！



○ 学校の見守りスポット ● 街なかの見守りスポット

実績

- ▶ 開始から18カ月の見守り数 **約1千万回**
- ▶ 子ども1人の見守られ回数 **13回/日**

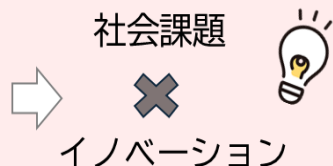
1人の子どものは13人の地域住民
から見守られていることに！

《社会変化と地域の課題》

人口減少
人口構造の変化

▶

人手不足
サービスの低下



- 子育て世代にやさしく、地域みんなで子育てを支える「仕組み」をデジタルやデータを活用して構築
- 挑戦と発想の転換による「佐賀らしさ」で、「日本一便利で豊かなまち、リッチ・ローカル佐賀市」を目指す

\Point/

1

デジタルやデータを活用して業務を効率化・情報をシェア

- ✓ 社会課題を洗い出し、アプリやICTを活用して課題を解決！

\Point/

2

地域住民みんなで支援する仕組みづくり

- ✓ 情報のシェアとデータのつながりで、課題に見える化し、みんなで取り組む！

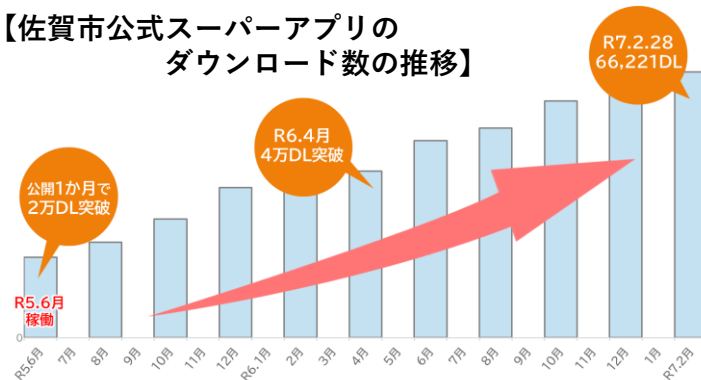
\Point/

3

共通のプラットフォームをシェア

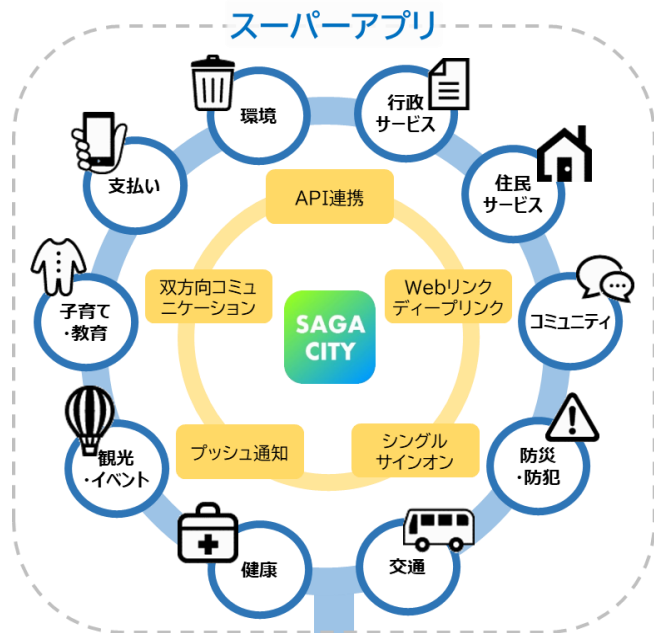
- ✓ みんなが同じものを使って、体験を共有し、どんどん仲間が増える！

【佐賀市公式スーパーアプリのダウンロード数の推移】



佐賀市の取組み・ノウハウを全国へシェア 自治体公式スーパーアプリを横展開

（R6.12月開始）



共通プラットフォームで“地方創生2.0”を実現

全国で使える・仲間が増える！



R6年度

3自治体が導入

R7年度

複数自治体が導入予定